

VII 詳細仕様検討案件一覧

VII 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
1	EDI	ebMS処理方式の廃止 netNACCS処理方式の接続仕様公開	ebMS処理方式を廃止する。 netNACCSのインターフェースの仕様を公開(API公開)する。	第8回 第16回	21~22
2	EDI	EDIFACTのバージョンアップ対応	第7次NACCSでは、現行バージョンに対応した機材のサポート期間終了に伴い、自社システム(EDIFACT)利用者への影響を考慮し、2021年前期バージョン(D21A)を採用する。航空のEDIFACT対象業務については、バージョンアップは行わない方針とする。	第7回 第16回*	22~24
3	共通	GW配下用パッケージソフトの廃止	GW配下用パッケージソフト(メール処理方式)を提供終了する。それに伴いメール型宛先管理機能を強化する。	第6回 第15回	25
4	共通	非同期電文の対象見直し	開庁時申告時や共同利用端末からの申告時についても、通常申告通りEXZ型電文として申告端末に出力するように変更する。申込業務に対する回答通知をEXZ型電文として申込端末に出力する。	第6回 第9回	26~27
5	共通	添付業務の改善	添付業務における添付ファイル容量の制限値等を改善する。	第17回 第21回	27~28
6	共通	DB保存期間の延長	修正申告、関税等更正請求、共通管理番号にかかるDB保存期間を延長する。	第19回	29
7	共通	第7次NACCSにおける認証方法	第7次NACCSでの認証方法については、第6次NACCSと同様にデジタル証明書による多要素認証を行うこととし、各課題について対策を行う。	第19回 第24回	29~30
8	共通	第7次NACCSにおける対応OS・ブラウザについて	第7次NACCSでは、第6次NACCSと同様にお客様端末を安全な状態に保つため、最新のOS・ブラウザ環境にてサービスを開始・利用できるようにする。	第23回	30
9	共通	第7次NACCSにおける定期保守日について	第7次NACCSにおける定期保守日については、現行システムのトラフィックの調査を行い、現行システムと同様、奇数月 第三日曜日 AM2:30~AM5:00とする。	第3回 第23回	31
10	共通	第7次NACCSのシステムライフ及び移行方針	第7次NACCSは2025年10月頃からサービスを開始し、システムライフは8年間とする。移行については、お客様への業務影響を考慮しつつ、お客様への負担が最も少ないと考えられる一括移行とする。	第21回	31~32

*資料1「WGへの検討課題提案状況」により検討結果報告を実施

VII 詳細仕様検討案件一覧



No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
11	UI・端末	NACCSパッケージソフトのユーザーインターフェース改善	以下の改善を行う。 ・帳票等への日時印字の改善 ・フォントやアイコンのモダン化 ・オートコンプリート対象項目の拡大 ・個人用入力チェック機能の追加 ・入力画面と出力帳票のレイアウト統一 ・グリッド対象の拡大 ・区切り表示項目の仕様変更 ・複数行項目での折り返し可能化	第9回 第15回 第16回 第17回 第19回	33～38
12	UI・端末	WebNACCSにおけるユーザーインターフェースの見直し	利便性、操作性等の大幅な向上を目的に、画面遷移、レイアウト、デザイン等について改善を行う。	第14回	38～39
13	UI・端末	WebNACCS対象業務の拡大	新たに以下6業務をWebNACCS対象業務に追加する。 包括保険確認登録（HKA）業務、包括保険確認登録呼出し（HKB）業務、 為替レート照会（IER）業務、担保照会（IAS）業務、 担保一覧照会（IAS01）業務、混載貨物状況照会（IIC）業務	第14回	39
14	UI・端末	携帯端末への対応	「輸出入通関・貨物関連業務」の対象業務について、従来のパソコン向けのページレイアウトに加え、スマートフォン・タブレット向けのページレイアウトを提供する。	第14回	40

VII 詳細仕様検討案件一覧



No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
15	通関	航空・海上識別の選択の自動化	申告等番号からシステム識別を自動判定し、申告可能とする。	第11回 第13回 第15回	41～42
16	通関	「申告添付訂正(MSY01)」等の通信文のみの修正可能化	「申告添付訂正（MSY01）」業務において、「通信欄」のみの変更を可能とする。	第11回 第16回*	43
17	通関	納付書等出力先の改善	航空申告分の納付書情報の出力先として、代表通関業者を設定可能とする。	第10回 第14回 第17回 第19回	43
18	通関	共通管理番号の番号紐づけ数拡大	共通管理番号に紐づけ可能な他法令届出・申請件数を最大297件に拡大する。	第12回 第16回	44～45
19	通関	共通管理番号の自動補完	共通管理番号へリンクを選択した場合で共通管理番号の入力が無い場合は、先行の他法令業務で払い出された共通管理番号を自動補完し、リンクする。	第12回	45
20	通関	輸出入申告等一覧照会業務における全官署照会の可能化	輸出入申告等一覧照会業務において、「税関官署コード」欄に「AL」が入力された場合は、あて先官署単位に全官署のデータを出力する。「通関士コード」欄、「輸出入者コード」欄を項目追加し、入力したコードで絞り込んだ照会を可能とする。 出力画面(照会結果が出力された画面)から申告官署等を繰り返し入力し展開可能にする。	第10回	46
21	通関	「当初輸入申告情報呼出し(修正申告)(DLI02)」業務における当初申告情報の呼出し可能権限の拡大	DLI02業務に「当初申告利用者コード」および「当初B/L番号/AWB番号」を項目追加し、DLI02業務実施者と当初申告者が異なる場合は、追加項目を必須とし呼出し処理を可能とする。	第11回	46
22	通関	「当初輸入申告情報呼出し(DLIxx)」業務の利用可能時間の拡大	当初輸入申告情報呼出し業務の呼出し処理可能時間を原則24時間可能とする。 ただし、一部の時間帯については呼出し処理起動までの時間制限を設けることとする。	第11回	47

* 資料1「WGへの検討課題提案状況」により検討結果報告を実施

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
23	通関	「関税割当証明書裏落数量仮登録(TQC)」業務の裏落とし回数上限の引き上げ	登録可能な裏落内容の件数を300件から999件に拡大し、欄部を300件から999件に変更する。	第10回	47
24	通関	蔵入承認(IS)された貨物情報での移入承認(IM)申請の可能化	蔵入承認貨物のシステム管理選択をした保税蔵置場にて移入承認申請、総保入承認申請を行った場合、その旨を貨物情報に登録する。貨物管理有蔵置場における蔵入承認後の移入承認申請、総保入承認申請に向けた「輸入申告事項呼出し(IDB)」業務を実施可能とする。	第10回	48
25	通関	更正通知書情報等の「社内整理用番号」追加	関税更正通知書等にも社内整理用番号欄を新設する。	第9回	48
26	通関	「輸出申告事項登録(EDA)」業務等の「インボイス番号」項目の仕様変更	輸出申告事項登録(EDA)業務等のインボイス番号にアンダーバーを入力可能とする。	第12回	49
27	通関	管理資料「H01 輸出申告一覧データ」等の改善	・EDA(輸出申告事項登録)業務、IDA(輸入申告事項登録)業務の仕入書番号、インボイス番号について、民間向け管理資料にて""を付加する。管理資料「H01(輸出申告一覧データ)」、「I57(包括保険使用実績データ)」について、仕入書番号を文字項目扱いとする。 ・管理資料「H01(輸出申告一覧データ)」および「I51(輸入申告一覧データ)」に「通関士コード」の項目を追加する。 ・輸出取止め再輸入申告の一覧および特例輸出貨物の輸出許可取消しを管理資料の出力対象項目として追加する。	第7回 第10回	49~50
28	通関	管理資料の追加(見本持出申請の一覧)	管理資料として新たに「見本持出許可申請一覧データ」を追加し、前月中の見本持出許可および見本持出許可取消に関するデータを収集し、一覧形式で提供する。	第7回	50
29	通関	包括保険関連業務の改善	現在のパスワード桁数は4桁となっているが、12桁まで桁数を拡張する。 現在は保険識別「C&F」だが、保険識別「CFR」に変更する。 料率変更時に適用開始年月日が訂正前と同じ場合はワーニングとするエラーチェックを追加する。	第13回	51

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
30	通関	納期限延長に係るリアルタイム口座対応	関税等の納期限延長制度(個別納期限延長、包括納期限延長、特例納期限延長)を利用した申告について、リアルタイム口座振替による納付を可能とする。	第16回 第19回 第24回	51~54
31	通関	修正申告の審査業務効率化	「修正申告の審査業務効率化」については実施見送りとなりました。	第19回 第21回 第23回	55
32	通関	修正申告及び更正請求の改善(項目追加)	「修正申告事項登録(AMA)」業務に「修正申告予定年月日」、「記事欄」項目を追加する。また、併せて「関税等更正請求事項登録(KKA)」業務にも記事欄の項目を追加する。	第23回	55
33	通関	特例申告業務の改善	特例申告控情報に添付書類提出の有無を表示し、特例申告時に提出すべき添付書類の有無を確認可能とする。 特例申告の期限内訂正について、既存業務を利用して可能とする。 一括特例申告事項登録(TKA01)業務について、輸入(引取)申告番号をシステムで補完する。	第19回 第24回	56~57
34	通関	包括評価申告の個別業務化	包括評価申告書の項目を網羅した個別業務を新設する。汎用申請(HYS)業務又は書面提出された包括評価申告書については税関で登録を行う。	第19回 第24回	58~59
35	通関	知的財産関係手続に係る各種通知の電子化	税関から権利者等に対し郵送している認定手続開始通知書等の知的財産関係手続通知書について、個別業務を新設し、電子的な送受信を可能とする。	第18回	59
36	通関	機用品蔵入等承認申請の改善	機用品蔵入等承認申請事項登録(CTA)業務の入力項目「他法令」に「WA : ワシントン該当」の入力を可能としその際、帳票に原紙提出要を出力する。 機用品蔵入等承認申請照会(ICT)業務における出力項目に「審査検査区分識別」を追加し、通関関係書類の提出要否判定結果を照会可能とする。	第16回	60

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
37	通関	石油石炭税法第15条に基づく特例納付のシステム化	石油石炭税法第15条に基づく納税申告について、システムでの申告及び納税を可能とする。	第19回	60~61
38	通関	減免戻し税等明細書提出のシステム化	一部の減免戻し税等明細書について、各様式の項目を網羅した個別業務を新設し、輸入申告で提出した明細書の紐づけを可能とする。	第18回 第24回	61~63
39	通関	急増する輸入貨物への対応（国内運送先、通販貨物識別等の項目追加）	改正された関税法施行令第59条に対応するため、輸入申告項目に「国内運送先」や「通販貨物に該当するか否か」等を追加する。	第22回 第23回	63~68
40	通関	海上小口貨物における簡易通関の導入に係る業務の新設	電子商取引の拡大やコロナ禍を背景に、通販貨物を海上貨物として輸入することが増加しており、小口で迅速な通関が求められる貨物の性質等を踏まえ、簡易な輸入通関の制度を設ける。また、簡易・迅速に通関手続を行うため、販売者(荷送人)、荷受人、貨物等に関する事項を申告前に提供する業務を新設する。	第20回 第22回 第23回	69~71
41	通関	リアルタイム口座振替方式に関する機能追加（特例申告対応）	リアルタイム口座振替を利用した一括納付対象外の特例申告等(即納)において、口座引き落とし前に口座引き落とし予定額等を申告者等に通知し、任意のタイミングで手動にて口座引き落としを可能とする。	第24回	71~72
42	通関	自動車通関証明書のシステム化	自動車通関証明書を電子化し、国土交通省が所管するMOTASに連携する。	第22回 第24回	72~74

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
43	貨物 (共通)	貨物状況通知サービスの提供	通知を必要とする貨物とその通知契機を事前に登録すると、保税地域への搬入や輸出入許可などの貨物情報の更新時に、リアルタイムに登録者端末宛てに通知する業務を新設する。	第13回 第14回 第16回	75~77
44	貨物 (共通)	SIR/EIR業務の統合	「S/I情報登録(EIR)」業務(航空)を「船積指図書(S/I)情報登録(SIR)」業務(海上)へ統合し、海上航空共通の「S/I情報登録(SIR)」業務に変更する。	第8回	77
45	貨物 (共通)	保税運送申告書申告番号の表示のスペース表示	保税運送申告番号等の帳票および画面の表示を輸出入許可通知情報の申告等番号と同様の3桁 4桁 4桁の区切りとする。 また、保税運送申告番号等の他、輸出申告入力控情報等で画面上区切りのない番号(輸出等申告番号(輸出取止め再輸入含む)・別送品輸出申告番号・機用品蔵入承認申請番号)については新たに区切って表示する。	第12回	78
46	貨物 (航空)	「AWB情報登録(輸入)呼出し(ACH11)」業務の改善	ACH11業務において、予めシステムに登録された航空会社と受託航空会社(グランドハンドリング会社等)との受委託関係を判断し、受委託関係がある場合は、ADM01業務で登録された情報を受託航空会社(グランドハンドリング会社等)が呼出し可能とする。	第12回	79
47	貨物 (航空)	「ロケーション情報登録(LOA01)」業務の改善	HAWB情報登録(輸入)(HCH01)業務が行われたMAWBであっても、搬出確認登録(一般)(OUT)業務までの間についてLOA01業務の実施を可能とする。	第7回	80
48	貨物 (航空)	「貨物取扱登録(特殊貨物)(CHT)」業務取消し時の仕様改善	CHT業務の取消時に、貨物取扱登録の履歴が削除されない仕様とし、入力に「取扱番号」の項目追加を行い、取扱番号単位の取消しを可能とする。	第9回	80
49	貨物 (航空)	「搬出確認登録(一般)(OUT)」業務の改善	OLT貨物に関する搬出確認登録(一般)(OUT)業務をHAWB単位でなく保税運送申告番号単位で行う事を可能とする。	第7回	81
50	貨物 (航空)	「輸入便情報照会(HAWB)(IMF12)」業務の改善	照会区分「D」の場合でも、便名の入力を可能とし、入力した便名で登録された不突合HAWB貨物の照会を可能とするよう変更する。	第10回	81

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧



No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
51	貨物 (航空)	「保税蔵置場在庫状況照会(輸出)(IWH)」業務の改善	保税蔵置場在庫状況照会(輸出)(IWH)業務の以下の出力情報について、「MAWB番号」の項目追加を行い、HAWB番号の出力時に属するMAWB番号を出力する。「仕立未済」の項目を追加し、当該項目に「Y」が入力された場合は、混載仕立情報登録(HDF01)業務未実施のHAWB番号の一覧を出力する。	第9回 第10回	82
52	貨物 (航空)	航空貨物におけるラウンド運送機能の追加	保税運送申告(一般)(OLT01)業務に新規運送種別「Q(検疫等の経由運送)」を追加し、当該種別を使用した場合に、再搬入を可能とする。マニュアルでの保税運送申告について、ラウンド運送に限らず、搬出後に貨物情報を削除することなく、搬入確認登録(システム対象内保税運送)(BIN01)業務での搬入を可能とする。	第18回	82~83
53	貨物 (航空)	航空貨物における仮陸揚関連業務の改善	航空貨物の仮陸揚貨物および混載仮陸揚貨物の仕分け・仕合せを可能とする。航空貨物の仮陸揚貨物および混載仮陸揚貨物についてOLT01業務による保税運送申告を可能とする。	第16回 第18回	83~84
54	貨物 (海上)	B/L番号枝番運用の改善	予備申告を枝番付きの貨物で行う場合、その後の貨物情報仕分け(CHJ)業務または貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)業務の枝番払出し処理において、該当枝番が存在した場合は、新たに枝番を払い出さずに、該当枝番の貨物を更新する。	第7回	85
55	貨物 (海上)	「輸入貨物荷渡情報登録(DOR)」業務の通知先の追加	通知先の入力有無にかかわらず、船卸前は貨物管理番号に登録されたコンテナオペレーション会社、船卸後は貨物の蔵置場所を管理する利用者に帳票を出力する仕様とする。	第9回 第12回	86
56	貨物 (海上)	「輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知)(RSS01)」業務の改善	RSS01業務に「処理区分」、「ID通知枝番」を項目追加し、取消しを可能とする。RSS01業務で送信したデータについて輸入コンテナ引取予定確認情報通知(ID確認)(RST01)業務が実施されるまで取消を可能とする。	第9回	87
57	貨物 (海上)	積戻貨物に関する輸入本船名等の「G01 輸入貨物搬出入データ」への出力	積戻貨物情報登録(RCR)業務実施を契機に管理資料「G01 輸入貨物搬出入データ」にも輸入貨物情報が収集出力されるよう変更する。	第9回	87
58	貨物 (海上)	改装・仕分け後の「見本持出確認登録(MHO)」業務の改善	見本持出許可申請(MHA)業務実施後、MHO業務前に貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)業務が行われた場合、仕分親貨物情報が見本持出許可申請の持出期間終了年月日から7日後(日祝日除く)まで保存されるように変更する。	第11回 第15回	88

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧



No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
59	貨物 (海上)	「内国貨物運送申告(DCC)」業務等の改善	1品目当たり200コンテナの入力を可能とする。	第10回	88~89
60	貨物 (海上)	内航船による外貿コンテナフィーダー手続	内航船単位に複数コンテナの積込(搬出)登録および陸揚(搬入)登録が可能な業務を新設する。	第17回 第18回	89~90
61	貨物 (海上)	バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大	1コンテナに対して登録可能な輸出管理番号を最大6,000件とし、バンニング情報追加(VAA)業務にて1送信で登録できる輸出管理番号を100件まで拡大する。本変更の対象帳票の輸出管理番号の繰返し数を最大1,500件に変更する。	第16回 第17回	91~92
62	貨物 (海上)	「船積確認登録(CCL)」業務におけるパッケージソフトでの業種チェック	CCL業務を船会社・船舶代理店以外(CY・通関業・海貨業)の利用者IDでログインし実施する際に、船積確認通知情報が出力されない旨の注意喚起のメッセージをポップアップで通知する。	第15回	92~93
63	貨物 (海上)	許可・承認貨物(輸出)情報の改善	許可承認貨物情報、許可承認内容変更貨物情報にブッキング番号を項目追加する。	第10回	93
64	貨物 (海上)	ACL業務の改善	以下の改善を行う。 ・ACLカスタマイズツール、ラベルの見切れ改善 ・「_(アンダーバー)」、及び「~(チルダ)」の入力を一部項目において可能とする。 ・荷主連絡先メールアドレス欄を3欄とする。 ・コンテナ番号入力欄に内個数・OVER HEIGHT・OVER WIDTH・OVER LENGTHの入力欄を設ける。 ・シール欄を6欄に増やす。 ・品名欄、記号番号欄等の電文分割について、メール処理方式におけるEXC型電文の分割可否を選択可能とする。	第8回 第11回 第17回	94~95
65	貨物 (海上)	「積荷目録状況照会(IMI)」業務の改善	IMI業務の照会情報に「運航船会社航海番号」の項目を追加する。また、各照会結果の共通部の航海番号、船会社、船卸港コード、船卸港枝番の項目順を積荷目録情報登録(MFR)業務の入力項目順に合わせ変更する。	第11回	96

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
66	貨物 (海上)	「貨物在庫状況照会(IWS)」業務の改善	未許可貨物(輸入においては許可済で後続業務の実施が必要な貨物を含む)の抽出照会を選択できる入力項目を追加する。搬入日順出力を選択できる入力項目を追加する。	第10回	97
67	貨物 (海上)	「貨物情報照会(ICG)」業務の改善	貨物情報照会情報(全体情報)(SAL0261)及び(保税運送関連情報)(SAL0331)の出力情報にて、コンテナ数が1本から4本の場合は、出力画面を1ページで収めるよう帳票レイアウトの変更を行う。	第10回	97
68	貨物 (海上)	「貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)」業務等の帳票レイアウトの改善	SHS業務およびCHJ業務で出力される帳票の共通部の余白を詰め、繰返し部を1ページ目から出力する。	第7回	98
69	貨物 (海上)	「システム外搬入確認(輸出許可済)(BIE)」業務等における「許可年月日」の項目追加	BIE業務の入力項目に「許可日」を追加し、輸出貨物情報訂正(BIF)業務で訂正可能とする。BIE業務で入力した「許可日」が、管理資料「G02 輸出貨物搬出入データ」の「許可日」に出力されるようにする。	第11回	98
70	輸入食品 動物検疫 植物検疫	通関系関連省庁添付登録業務(MSF)の改善	通関系関連省庁添付登録(通関系関連省庁添付登録(検疫所(食品))(MSF01)、通関系関連省庁添付登録(動物検疫所、植物防疫所)(MSF02))業務に対応した訂正業務及び照会業務を新設する。	第17回	99~100
71	輸入食品	IFA業務等での蔵置場所チェック処理の追加	食品等輸入届出事項登録(IFA)業務等にて、「届出種別」が「N：搬入後」でかつ貨物情報が存在する場合にのみ、入力した「保管場所コード」と貨物情報の蔵置場所の一致チェックを追加し、異なる場合に注意喚起メッセージを出力する。	第15回	101
72	輸入食品	輸入食品業務に係る紙申請業務の汎用申請化	輸入食品業務に関連する検疫所への汎用申請業務を新設する。 ※対象とする手続は厚生労働省（検疫所）にて検討し周知する	第15回 第19回	102~104
73	輸入食品	計画輸入届出の電子化	食品等輸入届出事項登録(IFA)業務の届出種別に計画輸入に関する種別を追加入力可能とし、初回の計画輸入届出をシステムで実施可能とする。	第19回	104~105
74	輸入食品	見本採取票の電子化	見本採取票を税関及び届出者にシステムで帳票出力できるようにする。	第19回	105~106

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
75	動物検疫 植物検疫	動物検疫業務、植物検疫業務の管理資料の追加	NACCSを利用して行われた動物検疫・植物検疫関連業務について、通関業務取扱明細簿の記載項目に即した件数等の把握が可能となる新規管理資料(動物・植物申請一覧データ)を提供し、動物検疫・植物検疫関連業務の件数等の把握を可能とする。	第18回	107~108
76	動物検疫	動物検疫所から申請者への連絡機能の追加	動物検疫所の業務に申請者への連絡機能を追加し、NACCS電文又はメールにて通知内容を確認可能とする。	第18回	109
77	動物検疫	輸入畜産物業務における受付項目の追加	輸入畜産物の検査申請において、「受付」項目を追加する。また、「受付」されるまでの間、添付ファイルの追加・差替えを可能とする。	第18回	110
78	動物検疫	輸出畜産物検査申請一覧照会(EMI)業務における検査状況(現物検査)の出力値の見直し	EMI業務(Web含む)における検査状況(現物検査)の出力値について、輸入畜産物検査申請一覧照会(ILI)業務における検査状況(現物検査)と統一する。	第18回	110
79	植物検疫	電子植物検疫証明書(ePhyto)の開発	植物検疫関連業務で電子植物検疫証明書(ePhyto)を用いた業務を実施可能とする。	第18回	111~112
80	植物検疫	輸出植物検査申請事項登録業務の「欄部項目入力」へのコピー＆ペースト機能追加	輸出植物検査申請事項登録業務の「欄部項目入力」において、各タブの情報をコピーできるようにする。また、タブ間でコピー・ペーストの機能を追加する。※本案件については、Webのみの仕様とする。	第18回	113
81	植物検疫	再輸出の検査申請時の「生産国の検査合格証明書」の初期設定値の変更	新規に輸出植物検査申請事項登録業務を実施し、検査申請事項登録入力画面を初期表示した際、「生産国の検査合格証明書」のラジオボタンのチェックを「原本写」に設定する。※本案件については、Webのみの仕様とする。	第18回	113
82	植物検疫	申請情報の流用時のコードに紐づいた情報の出力及び植物等輸出検査申請控等の表示内容の追加	申請情報の流用時、輸出植物検査申請事項登録(EPA)業務の輸入国名、産地、原産国及び発送国について、流用元の情報ではなく、NACCS(植物検疫関連業務)で保持しているコードに紐づいた情報を出力する。 ※本案件については、Webのみの仕様とする。 申請書に植物等輸出検査申請控・入力控(それぞれ再輸出含む)に、植物コードに紐づいた表示名称及び産地・原産国コードを追加で出力する。	第18回	114

Ⅶ 詳細仕様検討案件一覧

No.	区分	案件名	検討結果	WG	資料P
83	外為法	裏書業務における一括登録業務の新規追加	電子ライセンスに登録されている全ての取引明細に対して、一括で裏書登録可能な業務を新設する。	第19回	115
84	外為法	外為法関連業務のWeb化	外為法関連業務の申請業務をWebNACCSより実施できるようにする。	第19回	116
85	海上 入出港	WebNACCS(海上入出港業務)の改善	利便性、操作性等の大幅な向上を目的として抜本的な変更を行う。	第14回 第18回 第19回	117~119
86	海上 入出港	「書類状態確認(WVS)」業務の改善	利用者が入出港関連の帳票を確認・取得する業務が二つのパターンに分かれているため、統一化する。 (入出港関連の帳票は書類状態確認(WVS)業務で確認・取得するよう一本化する。)	第14回 第21回	120
87	海上 入出港	CSVファイル作成ツールの改善及びWUD業務の改善	乗組員・旅客・危険物作成ツールでのCSVファイル保存の際に、名称を任意で設定できるように変更を行う。また、アップロード画面で利用者の登録したい任意の情報を登録し、登録した情報の検索と検索結果表示を可能とする。	第14回	121
88	海上 入出港	WOT業務の改善	出港届等(内航)の業務時において、「入港届等」を呼出すことができるように呼出可能業務の追加を行う。	第14回	122
89	海上 入出港	不開港から不開港への船舶出入港に係る許可申請のシステム可能化	出港届等(VOX等)業務に紐づけ可能な「不開港出入許可申請番号」項目を1欄から8欄に増加することにより、不開港出入許可申請(CPC等)業務において、開港の次港以降最大8港まで不開港出入許可申請(CPC等)業務を行うことを可能とする。	第16回 第18回	122~123
90	海上 入出港	入港通報等の添付ファイル機能の追加	海港検疫申請時の添付ファイル機能を追加する。	第14回	123
91	海上 入出港	検疫所への本邦寄港地情報の通知	現行の検疫所側のシステムにおいては、当港入港前本邦寄港地情報が表示されない仕様となっているため、申請者よりFAX等で追加情報を取り寄せていたが、システム上で当港入港前本邦寄港地情報を確認できるよう仕様変更を行う。	第14回	124
92	利用申込	利用申込手続の改善	2段階申込(システム設定申込)の設定内容をNACCSの利用者設定業務(U業務)から設定するようにする。	第17回 第19回 第23回	125~126